2021年（令和3年）６月１日発行　第１６４号　　お店は18年・新聞続けて14年↓

花屋を身近に 香彩・新聞

発行：(有)kyo-sai.代表　川邊　泰史　札幌市東区北12条東11丁目２－１４
電話：　０１１－７３１－８７８３　ホームページhttp://kyo-sai.co.jp

好きな事を探そう

自分らしくいれる時間
いつのまにかの今の私

お花屋さんと呼ばれてもう25年以上経ちました。当たり前のように花屋さんとして生きていますが、生き方を見つけられたことへ感謝とそれ以外は駄目な自分もいます。店頭でお花の事を聞かれると何でも話したり、このお花がある空間は自分にとって話しやすい場所になってます。お花以外の会話はどう?と言うとなかなか話べたで会話も続かないのもしばしばです。僕以外でも専門的な事は得意でも他はあんまりって人もいると思います。好きな事や得意な事を大切に生きていくしか自分を表現しずらいのです。家庭でも職場でも自分の事をうまく出せなく失敗していますよ。6月は父の日があります。お花とはあまり関係ないと思われるかもしれませんが、プレゼントとして選んで頂ける方もいます！優しい気持ちや日頃疲れているお父さんとう仲間に癒しが届けられたら嬉しいです！僕の父は亡くなりましたが、もっと早くに父の寂しさに気づいてあげれたらとちょっと後悔のこの時期です。

寒暖

寒くなったり、暑くなったりとこの時期は忙しいですね。体調管理も大切ですよ。お花は暑さに弱く萎れやすくなってしまいます。それでも毎日お水の管理や水を吸い上げる茎の下をカットしてあげると元気な時間が長くなります。僕も店内が寒いのでいつも夜に残って作業しているとエアコンで寒くて、家に帰ると暑いの繰り返しで疲れやすくなる時期です。夏までもう少しコロナ収まれ！

地物が出てる

北海道も暖かな日が増えこの時期からは道産のお花達が多くなってきます。当別、長沼、伊達、苫小牧、新篠津、名寄、三石、野幌、恵庭、帯広、滝川・・産地を書けばどんどん出てくるほど北海道はお花がいっぱいです。店頭のプライスには産地も記入していますので、地物が揃ってきたら北海道フェアーも開催できますよ。農家さんが一生懸命に作ったお花を僕らが可愛く届けます！

人の言う事は

人の言う事は様々で誰の言葉が自分に響くか、言葉じゃなく姿勢なのか。誰も居ない空間での作業はそれも空回り、人の先頭に立つ立場の人は自分に厳しくなりがちです。頑張りは誰かが見てる、いや自分に自信を与えてくれます。新しい春から少し経ちました皆さん無理せず時に許し、励まし合って今を乗り越えましょ

家にいる時は寝るだけの生活を過ごしてしまっている自分。家族との時間を少しGWにはあったけど、母の日があり徹夜の日々、それが終わったら反省と孤独が待っていた。元々経営者は孤独だと言われるが、支えてくれる仲間がいれば少しは違うのか？良かれと思いが逆になり、相談が愚痴になるなんて事もあるのが人間です。

スタッフみんな頑張ってます！優しい言葉ありがとうございます！！